

造船造機統計（基幹統計） 造船調査概要

1. 調査の目的

造船の実態を明らかにすることを目的とする。

2. 調査の時期

毎月末現在により行う。

3. 調査の対象及び調査事項

調査の対象

鋼製船舶又は鋼製以外の船舶で総トン数20トン以上若しくは長さ15メートル以上のものの製造設備又は入きょ(ドック)若しくは上架設備を有する工場。

調査事項

鋼製船舶及び鋼製以外の船舶を製造又は修繕したもの。

ただし、鋼製以外の船舶のうち総トン数20トン未満かつ、長さ15メートル未満のものは含まない。

4. 調査結果の公表

本調査の調査結果は、毎月「造船統計月報」により公表している。

なお、造船造機統計における造機調査の調査結果は、毎四半期「造機統計四半期報」により公表している。また、平成21年3月分までは「造船造機統計月報」を参照されたい。

5. 用語の説明

船 価……原則として契約船価であるが、契約船価に機関、ぎ装品等の価格が含まれていない場合はその見込額を契約船価に加えてある。

国内船……本調査における国内船及び輸出船は発注者の国籍により区分される。

輸出船

6. 統計表記載の略語等

(1) 平成25年における調査の見直しに伴い、公表する船種についても検討を行った。その結果、平成26年1月分より、建造実績の少ないチップ専用船及び木材専用船についてはその他貨物船、鉱石兼油送船についてはその他油送船の内数として公表することとした。また、RORO船、木材兼ばら積み船、プロダクトキャリア、L. N. G船については今後の受注・建造が見込まれることから、新たに公表することとした。

(2) 第3表から第6表の()内の文字は、専用船の略語で、(鉱石)＝鉱石専用船、(撒積)＝ばら積み船、(コンテナ)＝コンテナ船、(自動車)＝自動車専用船、(鉱・撒)＝鉱石兼ばら積み船、(石炭)＝石炭専用船、(セメント)＝セメント専用船、(RORO)＝RORO船、(木・撒)＝木材兼ばら積み船、(その他)＝その他貨物船を表し、貨物船の欄に計上してある。また、油送船については、(プロダクト)＝プロダクトキャリア、(LPG)＝L. P. G. 船、(化学薬)＝化学薬品船、(LNG)＝L. N. G 船、(その他)＝その他油送船を表し、油送船の欄に計上してある。

(3) 第2表及び第7表の強化プラスチック(木)船とは、強化プラスチック船(FRP船)及び木船を表す。

(4) 「・」は秘密保護上公表しないもの、「-」は該当数値のないものを表す。